

ふるさと散歩12月 《Vol・141》 ★★★★★14Km

《海住山寺から四方の眺望を楽しめる三上山展望台へ》

「海住山寺から三上山へ」

主催 NPO法人 ふるさと案内・かも

TEL・FAX 0774-76-3989



三上山



森林公園

【集 合】 JR加茂駅西口 9時15分

【解 散】 JR棚倉駅前 15時頃

【コース】 加茂駅→大井手用水→海住山寺→境内(トイレ休憩)→分岐点→鳴子川→三上山展望台(昼食)
→山城森林公園(トイレ休憩)→棚倉駅前



山城森林公園

裏面に詳細地図



海住山寺山門



海住山寺より大野山を望む



鳴子川を渡る



三上山登山道



三上山展望台

◇大井手用水 瓶原は恭仁京の頃から水利の便が悪く、畑ばかりで米の収穫がほとんどないところでした。農家は度々旱魃の被害を受けて困窮していました。鎌倉中期(1222), 海住山寺・慈心上人の努力で

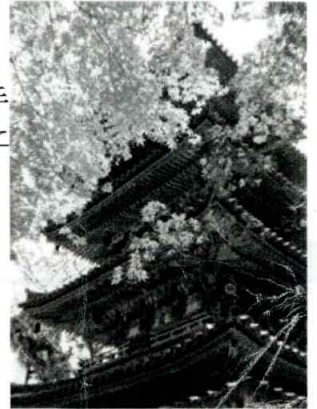
和東川から水を引き、10余年をかけて約7kmの大農業用水路(大井手用水路)を完成させました。当時は機械などなく、全て人手で山肌を拓き、岩を削る大変な工事でした。

◇海住山寺

天平7年(735)聖武天皇の勅願で良弁僧正の創建と伝えられています。



建築中に現れた十一面観音を本尊とし『藤尾山観音寺』と呼ばれていました。その後荒れていたのを、左大臣藤原永手が再興しましたが、保延3年(1137)火災によって焼失しました。鎌倉時代の承元2年(1208)解脱上人貞慶によって復興され『補蛇洛山海住山寺』となりました。その後慈心上人覚真が後を継ぎ二世となり寺観を整え、塔頭は全盛期58坊あったと伝えられています。



中興の僧・解脱上人貞慶－興福寺の僧、笠置寺から海住山寺に入り5年間務め59歳で没する。

・慈心上人覚真－解脱上人を慕い海住山寺に入り34年間(42歳～75歳)務める。瓶原の人々に働きかけ、和東川から水を引き約7kmの大井手用水路を造りました。

*本尊十一面観音菩薩《平安時代》重文 像高167.7cm

*五重塔《鎌倉時代》国宝 解脱上人が生前に造営を始めたが、没後の建保2年(1214)の一周忌に二世慈心上人が仏舎利を入れて完成したものです。一階は厨子様に作られていて内陣の扉絵は豪華なものです。昭和37年の解体修理の折、“もこし”を付け元の姿に戻しました。

*文殊堂《鎌倉時代》重文 鎌倉時代前期の建立と考えられ、蛙股、連子窓などに様式をとどめています。

*石船(石風呂)《鎌倉時代》長さ2m、幅1.1m 正嘉2年(1258)の銘があります。

*ヤマモモの木 京都府自然200選に選ばれた樹木です。

◇鳴子川

山城町神童子の三上山南麓に発し西流、神童子地区を貫流し、山城町平尾高開の木津川・開橋の下で木津川に注ぐ。中～下流部は著しい天井川となります。

◇三上山(473.3m)・山城町森林公園

木津川市山城町。JR奈良線棚倉駅の東北東4.2km。山城町区分図にこの辺りは三上(高麗三上)という地名が記され、これから三上山と名付けられたと思われます。久邇の新京を讃むる歌、田辺福麻呂の一首に「布当山山並み見れば百代にも 君はるまじき」の布当山山並は三上山と思われます。三上山の麓の鳴子川にコテージ、キャンプ場の設備が整う木津川市山城森林公園があり、よく登られる山です。ヤシャブシなど樹種も多く、野鳥や昆虫が多く見られます。風化花崗岩の山で、明治期までは森林伐採などで大量の土砂が流出し荒廃していましたが、砂防工事や植林が進められ現在の山になりました。低山ながら360度の展望をお楽しみください。



三上山近辺ルート*①冒険の道